

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10257

和歌山東公園維持管理事務（義務）

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	3	魅力ある都市景観の創出
施策	2	都市緑化・都市美化の推進
取組方針	2	都市公園等の充実

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		公園費	
	目		公園管理費	
	大事業		公園管理事業	
	中事業		和歌山東公園維持管理事務（義務）	

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	公園緑地課	山本 敦弘 435-1076
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	和歌山東公園を適切に維持管理する。		和歌山東公園を適切に維持管理するための事業			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		・和歌山東公園の維持管理や公園内体育館、市民球場等の貸出業務	・和歌山東公園の維持管理や公園内体育館、市民球場等の貸出業務	和歌山東公園の維持管理や公園内体育館、市民球場の貸出業務	和歌山東公園の維持管理	

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	46,264	46,264	45,886	45,886	46,061	46,061	44,158	0	0	0
伸び率（%）	△2.4%	△2.3%	△0.8%	△0.8%	0.4%	0.4%	△4.1%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	5,105	5,025	5,115	5,035	5,397	5,880	5,397	0	0
	正規職員以外	949	874	943	1,064	0	0	0	0	0
	小計	6,054	5,899	6,058	6,099	5,397	5,880	5,397	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,099	6,114	7,099	5,696	7,163	5,288	7,222	0	0	0
一般財源（税等）	39,165	40,150	38,787	40,190	38,898	40,773	36,936	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	0.64	0.63	0.64	0.63	0.67	0.73	0.67	0.00	0.00
	正規職員以外	0.38	0.35	0.38	0.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料46,061千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
利用者アンケートの実施		件/年	100	100	100	100	
			100	100	100		
			0%	0%	0%	%	
有料施設貸出件数		件/年	800	800	800	800	
			997	731	687		
			124.6%	0%	0%	%	

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	現在の利用状況を分析し、指定管理者との協議を重ねることで、より良いサービスを提供できる余地がある。
見直し・改善内容	施設利用者の多様なニーズに対し柔軟な対応を実施することで、集客の増加を図り施設稼働率の向上を目指す。